

フリマサービスの利用は気を付けて！

スマホで手軽に不用品を売買できるフリーマーケット(フリマ)サービスは便利なものですが、利用が増え、トラブルが急増しています。

相談 「口紅をフリマアプリで出品した。商品名・商品番号を記載して写真を載せた。購入者が現れ、口紅を送ると、「明るいピンクだと思っていたら、ブラウン系だったから着払いで返品する」と言ってきた。実物と写真の色が多少違うことはあるが、商品番号で色の確認はできる。商品に問題はないので、返品は受けないと言っても返品すると主張し話にならない。購入者が受取通知を運営業者に送らないので、商品代金を受け取れない。運営業者に取引を終了させてほしいとメールを出したが、当事者間で解決するよう返信が来ただけで対応してくれない」

最近購入者からだけでなく、出品者からの相談も増えています。当該フリマアプリの規約では「原則、一度購入した商品のキャンセルは不可」となっていますが、「商品に問題があった場合や取引の継続が難しい場合は当事者間で話し合ってください」とも書かれています。当センターで相談

消費生活センター(ステーションNビル3階) ☎753・5555

者がフリマアプリに載せた写真を確認しましたが、ピンクには見えません。また、ネットで商品を検索するとピンク系ではないことが分かります。センターから運営業者に、購入者の自己都合による返品に対応について、メールで問い合わせましたが、「当事者間で話し合ってください」と返信が来ただけでした。購入者と話ししかないため、相談者は購入者と運営業者とも何度もやり取りした結果、返送料を運営業者が負担することで返品に応じることになりました。

この他、「商品を送ったのに、届いていないと言われた」「本物のブランド品を送ったのに、偽物だと言われた」などの相談も寄せられています。フリマサービスは個人同士の取引です。規約をよく読み、トラブルは当事者間での解決が求められることを理解した上で、ルールを守って利用しましょう。



Q 睡眠時無呼吸症候群(SAS)って何ですか？

A 睡眠時無呼吸症候群(SAS)とは、睡眠中に呼吸が止まったり、止まりかけたりする状態が何度も起こる病気です。

- 次の項目で3つ以上当てはまる人は睡眠時無呼吸症候群の疑いがあります。
- ① いびきをかく
 - ② 疲れやすい
 - ③ 睡眠時に無呼吸を指摘される
 - ④ 高血圧
 - ⑤ 肥満(BMI 35以上)
 - ⑥ 50歳以上
 - ⑦ 首が太い(首回り43cm以上)
 - ⑧ 男性

Q SASを放っておくとどうなりますか？

A 日中の強い眠気や倦怠感・集中力の欠如のために事故を起

こす確率が高くなります。さらには自律神経の不調をきたし、高血圧や心筋梗塞、脳卒中などの合併症を招きます。放置すると確実に寿命が短くなります。

Q SASは治療できますか？

A SASは対処する治療法が確立されています。検査と治療を受けて無呼吸を改善できれば、ぐっすり眠れて寿命を全うできる可能性が高まります。治療は内科によるCPAP(シーパップ)療法や、歯科によるマウスピース治療などがあります。いびきや無呼吸は自覚しにくいことも多いです。特に、ご家族などからいびきを指摘されたことがある50代男性は、一度いびきの検査をしてくれる病院を受診してみることをお勧めします。

池田市歯科医師会

